

## 第 6 回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成 19 年 8 月 13 日 (月) 午後 1 時 00 分 ~ 午後 2 時 15 分

2 場 所 役場 2 階 審議室

3 出席者

《構成員》田浦副町長、北川総務課長、尾崎町民生活課長、岡崎保健福祉課長、伊藤産業振興課長、前田教育振興課長

《説明員》少子化対策プロジェクト庶務 子育て支援班 吉岡主幹  
頑張る地方応援プログラム庶務 企画財政班 佐藤主査

《庶務》総務課企画財政班 石田主幹、深山主査

4 内 容

《審議事項 1》

『頑張る地方応援プログラムの応募プログラムについて』

(1) 頑張る地方応援プログラムの応募プログラムについて

応募プログラムの修正案について

ア 少子化対策プロジェクトの応募プログラムについて

[プロジェクト庶務(吉岡主幹)から資料により説明]

- ・ 資料 2 により、合計特殊出生率の算出式を説明。
- ・ 事業内容から、具体的な成果目標を下記のとおり設定した。
- ・ 平成 20 年・平成 21 年の合計特殊出生率を「1.85」以上 町単独の合計特殊出生率を算出し成果を図る。
- ・ 安心して働けるよう休日保育、一時保育、特定保育の拡充を計画する
- ・ ファミリーサポートセンター事業の実施を計画する
- ・ 保育所待機者ゼロを目指す
- ・ 育児孤立家庭ゼロを目指す
- ・ 育児サークル加入率 45%を目指す
- ・ 子育てガイドブックを作成し配布する

[協議内容(全体協議)]

- ・ 平成 20~21 年度に計画する事業は、事前に理事者の意思決定を受けること。
- ・ 本町は自衛隊が駐屯していること公務員が多いために、ほぼ定量の出生数であるが、特に平成 17 年の出生数が減少した理由を分析すること。

[総括]

- ・ 素案の審議は完了したので、字句的な整備は事務局と調整し、2次募集に応募すること。

(2) 応募プログラムについて

地場産品発掘・ブランド化の応募プログラムについて

観光(農業)振興・交流の応募プログラムについて

[ と は関連があるので、プロジェクト庶務(伊藤課長)から資料により説明]

- ・ 豚肉と野菜に的を絞った地場産品のブランド化を目指す。
- ・ 上富良野町地産地消推進協議会事業については、厚生労働省補助事業の採択を受けてから事業費を修正する。
- ・ と の事業名称が重複している事業については、プログラムごと区分して計上している。
- ・ 全体構想として、地場産品発掘・ブランド化のプロジェクトを進めることにより、観光(農業)振興・交流を図り、観光客入込数100万人を目指す。

[協議内容(全体協議)]

- ・ と は関連があるので、一つのプログラムとしてまとめ応募するほうがよい。
- ・ 北海道で唯一、本町が栽培し、ビールの原料となっている「ホップ」の展示栽培を検討・実施し、PRを図ったほうがよい。
- ・ 十勝岳温泉郷の事業展開が必要である。
- ・ 町全体及び役場で地場産品を使用し促進する取組が必要である。

[総括]

- ・ 素案の審議は完了したので、字句的な整備は事務局と調整し、2次募集に応募すること。

[全体総括]

町長から指示された応募プログラムの素案審議を終えたので、事務局との字句的な整備後、2次募集に応募すること。

字句整備後のプログラムについて、メール(文書)で構成員に通知すること。

応募したプログラムの進捗状況は年度末毎に政策調整会議に報告する。